



# 地域子育てネットワークだより

令和7年10月

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県県民生活部男女青少年課

E-MAIL : danioseishounen@pref.hyogo.lg.jp 電話 : (078) 341-7711 (内線 73122)

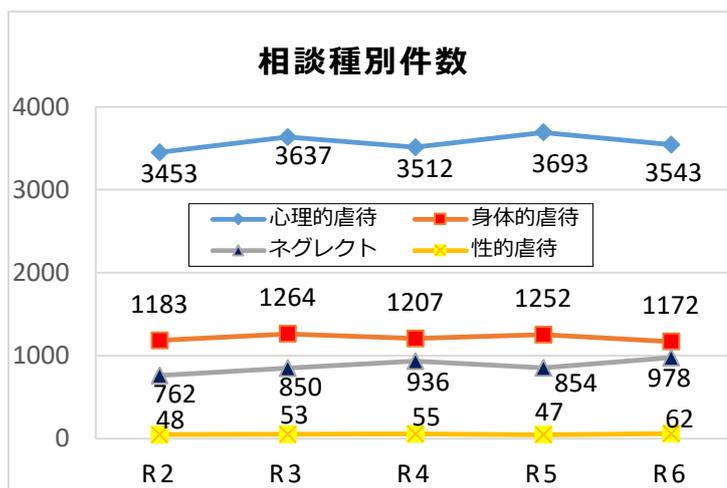


## 県児童相談所（こども家庭センター）への 児童虐待相談件数



令和6年度に県児童相談所（こども家庭センター）7カ所（中央、尼崎、西宮、川西、加東、姫路、豊岡）が受け付けた児童虐待相談件数は**5,755件**で、**令和5年度（5,846件）**と比べて**91件減少**しています。なお、神戸市こども家庭センター・明石こどもセンターを含めると**9,585件**であり、兵庫県全体の児童相談所の虐待相談受付件数は、**過去最大**となっております。（令和5年度：9,429件）

主な虐待者は**実父が 2,828 件で全体の 49.1%**と最も多く、次いで**実母が 2,401 件で 41.7%**、実父と実母を合わせると 5,229 件で全体の 90.9%を占めています。被害を受けているのは**小学生以下の子どもが 4,415 件で全体の 76.7%**を占めています。



相談種別としては**心理的虐待が 3,543 件で全体の 61.6%**と最も多く、次いで**身体的虐待、ネグレクト（保護の怠慢ないし拒否）、性的虐待**と続きます。

相談経路は**警察からの相談が 3,710 件**と最も多く、全体に占める割合は **64.5%**（令和5年 65.0%）です。次いで**近隣・知人から**となっております。

「子育て応援ネット」が取り組む登下校時の見守りや、声かけ、SOS キャッチ活動など地域ぐるみの子育て応援がますます求められています。

### 子育て応援ネットの活動紹介

声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取組を紹介します。

伊丹市には、子育てサークルネットワークがあります。市内の子育てサークルの代表者が集まり、**次世代育成課・子育て支援センターと連携**して、活発なサークル運営ができるように支援していくことを目的とし、**様々な情報交換や問題解決につなげていく**ことが出来ます。

数年前までは親子で公園に遊びに行けば友だちを作れる環境がありましたが、**共働き世帯の増加**に伴い、保育所等に入所する子どもが増えて今ではそれも難しくなっており、親子で参加できるサークル活動の必要性を感じています。

又、サークルを運営して下さっている皆さんも**子育て中のお母さん**です。サークルネットワークでは**皆さんがホッと出来る場所、空間作り**を企画しながら、私たちネットワークスタッフも子育てを楽しみたいと思っています。



伊丹市子育てサークルネットワーク  
代表 山中 明子



「高司児童館まちの子育てひろば」は、誰でも気軽に集える「場」として月曜日～土曜日の10時～17時まで開いています。

各プログラムは、多彩な経歴を持った職員それぞれが「どんなあそびを提供しよう」と頭を柔らかくして考えて、リズム遊びや季節を感じる遊び、体を使った遊び、工作、手形カレンダーなどを多様な内容で実施しています。令和6年度には子育てひろばアドバイザーを派遣していただき、英語に触れながら色々な遊びを楽しみました。

児童館なので、午後になると幼稚園帰りの親子さんや小中高生と同じ場所で同じ時間を過ごせる貴重な交流の場になります。

普段の生活の一部にあるひろば、利用者同士で子育てに関する情報交換などは日常茶飯事。私たち職員は、皆さんが元気な時も、ちょっとしんどい時も、いつでも来てくれることを待っています。



連載  
177回

## 秋の星空は、科学と想像の世界をつなぐ入口

県立こども病院名誉院長 中村 肇

秋の夜空は、子どもに自然の不思議を伝える絶好の舞台です。「この前、月が赤く見えたでしょう？ あれは皆既月食といって、地球の影に月がすっぽり隠れたからなの。太陽の赤い色の光だけが地球の空気を通り、月までとどき、赤く輝くのよ」というお母さん・お父さんの説明に、子どもは目を輝かせます。

もうすぐ10月6日には、中秋の名月が見られます。日が暮れると、大きなまん丸のお月さんが東の空からのぼって来ます。「昔の人は、収穫に感謝して、1年中で最も大きく、美しいこの月を眺め、お団子を供えて、丸い月に願いを託していた。」と、子どもに語りかけると、子どもは空を見上げ、月の明かりの中で物語を想像します。

さらに、秋の夜は流星群が次々とやってきます。小さな星のかけらが空気とぶつかってひかり、一瞬で消えます。10月上旬には、りゅう座流星群がピークを迎え、10月22日未明には、オリオン座流星群が極大を迎えます。

天体のドラマに触れると、子どもたちの心には「なぜ？」「どうして？」という芽が育ちます。

秋の星空は、科学と想像の世界をつなぐ入口なのです。

